

温故創新

豊中らしさを創る

無所属 32歳

豊中市議会議員



29号です。議会改革に特化して会派をつくりました。24年度も猪突猛進で頑張ります。

駅前・街角での3秒間の出会いを、無限大の関係に！日々の活動などはホームページで。

まつおかあきみち 松岡信道と、もっと豊中市！

編集・発行／豊中から日本を動かす会

ものづくり都市、豊中市

豊中市といえば、大きな公園があつて、大阪市に隣接する住宅都市というイメージが先行します。しかし、他面では、**ものづくり事業所数が大坂府下で第5位となっております**、**大阪市、堺市、東大阪市、岸和田市に次ぐ、ものづくり都市の顔を持っています**。

残念ながら、ほとんどが中小零細企業であり、池田市のダイハツとか、吹田市のアサヒビールのような大企業は少ないです。個別のものづくり事業所をみると、独自の技術をもっている企業も少なくなく、「広報とよなか」で定期的に「ものづくり人」として特集し、豊中市の事業所が紹介されていますので、ぜひご覧ください。

規模の小さい事業所は目立ちませんが、豊中市の雇用を創出し、財政的にも貢献してくれています。豊中市は企業立地推進条例を制定して、企業誘致に取り組んでいます。大きな事業所が進出するだけの土地が少ないので、誘致の障壁になっています。

阪急宝塚線、モノレール、北大阪急行線に囲まれ、市内にバス網が充実している豊中市は、通勤しやすいというメリットを活かさない手はありません。また、空港、新幹線へのアクセスも活かして、働きやすいまちづくりを進めていきたいと思えます。

抜本的な市政改革が必要

豊中市政は、これまで市民生活に大きな影響を及ぼすような失政はなく、問題になりませんでした。しかしながら、問題が生じないことで市民のみさんの関心は向けられず、豊中市政は緊張感を失っている気がしています。

まずは行政改革が必要で、豊中市役所には派閥が存在します。どこの会社にも派閥や好き嫌いのグループはあると思いますが、もちろん暗黙の了解です。すね。しかし、職員の派閥化が顕著になり、市民生活に影響を与えるようではいけないので、地域自治推進条例の審議の中で明らかにしました。入庁してから一度も試験が課されず、情実によって異動や昇進が決まるようでは、職員の士気も上がりません。

こうした事態になるまで放置していた議会にも責任はあり、議会改革も急務です。人事に口出しはできませんが、昇進試験の実施や職員の公正な評価制度の導入は、議会から求めていくべきことです。また、**市長と党であることが先に立ち、すべての議案に賛成すること**が前提になるようでは、緊張感のある二元代表制は実現できません。政治と行政が機能不全になると、迷惑するのは私たちです。みなさんの関心を市政に向けていただき、緊張感ある市政改革の実現が必要だと考えます。

縦割りの弊害で1億円超

縦割り行政は一長一短ですが、豊中市の交通政策が一本化されておらず、バス事業に1億円以上も税金を投じている問題を指摘しました。

環境部のエコラボス（マイカー抑制）、健康福祉部の福祉バス（高齢者対策）、都市基盤部の運行補助（交通不便地解消）、教育委員会の業務委託（温水プール送迎）がバラバラで、重複する路線があります。福祉バスは高齢者しか乗れませんし、バスの設置目的が異なるので、料金も異なります。

財政再建はもちろん、市内の交通政策を一本化していかなくては、私たちの利便性は向上しません。利便性が低いので、乗車率も低く、バスによっては空気を運んでいると批判されても仕方ありません。ムダを精査し、本当に必要な公共交通網を構築していかなくてはなりません。

中部地域の東西交通は必要不可欠

北大阪急行線の緑地公園駅と阪急宝塚線の曾根駅を結ぶバス路線がなく、路線整備を求めています。両駅の間には服部緑地をはじめ、公共施設や教育施設などがあります。現在は、民間事業者が利用者のために独自で送迎バスを設置していますが、官民協働で豊中市中部地域の東西交通の整備を実現していきたいと考えています。

とよなか創政記

「家庭訪問がなくなる学校」

サラリーマン教員、モンスターペアレント、学校の不祥事など、教育の抱える課題は山積しています。教育といえば、学校教育をイメージしがちですが、教育は家庭教育、社会（地域）教育、学校教育でもって成立します。

教育委員会は、学校教育がしっかり行われるように指導監督しており、社会教育の振興のための施策を展開しています。しかし、家庭教育には介入できません。

学校と家庭と地域が連携して成り立つのが教育ですから、教育問題を解消し、再生させるためには、三者の協力が必要不可欠です。しかし、学校と家庭の関係の希薄化が進む現在、お互いの信頼関係を構築することが急務です。学校と家庭をつなぐため、今も昔も変わらない方法が家庭訪問です。

※ご意見ご感想をお聞かせください。

TEL:06-7178-7785

(携帯へ転送します)

FAX:06-6871-0632

(後援会事務所)

Mail:office@matsuoka-akimichi.net

市議会控室：豊中市中桜塚3-1-1

※せっかくご連絡いただいても、ネット環境の不具合やFAXの印刷不鮮明などで、お返事できない方がいらっしゃいます。恐れ入りますが、一週間以内に返信がない場合、再度ご連絡いただければ幸いです。

ブログ、mixi、twitter(matsuokaakimich)に加え、facebookでも情報発信中！みなさんのフォローをお願いします。

豊中市では、家庭訪問を実施していない小学校が半数を超えていることが、私の質疑で明らかになりました。41小学校のうち、家庭訪問を実施しているのは19校、未実施が22校（このうち18校では地図上で児童の家を把握したり、家の前まで行ってインターフォンを押さなかったり、児童が遊ぶ地域の公園を訪問している）です。

家庭訪問を実施しない理由は①授業時数の確保②懇談などで家庭との連携がとれている③保護者が家庭訪問を求めている、などです。

家庭訪問の目的を忘れるな

家庭訪問の目的は「家庭での児童の様子を把握すること」です。それを家庭訪問以外の手段で確保できるようにするか。不登校やDVが社会問題となるなかで、家庭訪問が必要不可欠な手段であることは明白です。②は目的を見失った言い訳にすぎません。

家庭訪問をしない原因は、保護者の



【略歴】
市立 しんでん幼稚園
市立 南丘小学校
市立 第九中学校
府立 北野高等学校
同志社大学法学部政治学科
大阪府信連職員(JAバンク大阪)

【現在】
2007年 最年少で初当選 (2,791票)
2011年 第二位で当選 (5,457票)

環境福祉常任委員会
空港問題調査特別委員会
議会改革(市議会会派)

【主なボランティア】
豊中ラグビースクール
豊中地区BBS会(更生保護活動)
豊中青年会議所

温故創新を受け取ってください。記事のリクエストがあれば教えてください。また受け取ってくださいね。

拒否が発端のようです。共働きで忙しいことに加え、プライバシーの点から抵抗感を感じる人もいらっしゃるでしょう。しかし、一方で、家庭訪問をして、子どものことを考えて欲しいという保護者もいます。③は多様な意見を無視した思い込みにすぎません。

保護者の拒否が発端ですが、それに乗じて、仕事を楽なほうへシフトさせているのが現状です。豊中市内18の中学校では、家庭訪問が完全実施です。校区が広がるにも関わらず、しっかりと授業時数を確保して実施しています。つまり、①も都合のいい言い逃れにすぎません。結局、家庭訪問をしたくない一部の教員がいて、彼らが学校の方針まで決めてしまっていると言われても仕方ありません。

家庭訪問未実施で腐敗する教育

多くの先生は熱心で、やる気のある人です。子どものために家庭訪問をして、保護者としてしっかり情報共有しよう

【お願いとお知らせ】

- ・この温故創新を、お住いの向こう三軒両隣、マンションの集合ポストに配布してください。少数でも結構ですので、よろしくお願致します。
- ・活動経費として、皆様からのカンパをいただければ幸いです。ビール1杯、スイーツ1皿分程度で結構ですので、ご支援をよろしくお願い致します。
- ・今後、有権者のための講座を開催したいと考えています。流行りの政治塾ではなく、有権者のみなさんが公民としての知識をもっていたくことを目的としたいと思います。

学生の方に・・・社会勉強のために市議会に来ませんか？ 議会インターンシップ、子どもと関わるボランティアも募集しています。

松岡あきみちを応援していただける、

ミカタを募集しております！

ふりがな
氏名

電話番号

住所

E-mail



と努力されています。しかし、そんな先生も学校の年間計画で家庭訪問が位置付けられないと、家庭訪問したくても時間の制約上、実施できません。また、家庭訪問を実施していない小学校に新卒で配属になると、家庭訪問を知らない教員が誕生してしまいます。やる気のある先生が育たない環境で、教育がよくなるわけがありません。やる気のない教員のための学校運営では、学校教育は腐敗してしまいます。教員をしっかりとチェックするのは保護者のみなさんです。たしかに個人の都合を言えば、家庭訪問は面倒かもしれませんが、それによって自分の子どもが受ける教育がどんどん腐敗していくことを考えると、納得できるでしょうか。学校と家庭がよい意味で緊張感をもって連携しなければいけません。今の状態は「大人の都合」で「子ども不在」であり、豊中市の、いや日本の将来が危ぶまれます。